Photoshop® Quick Master CC

ver1

CC2019 補足版

2018 年 10 月リリース〜2019 年 2 月リリース

・当補足版は、CC2019（2018 年 10 月リリース〜2019 年 2 月リリース ）ユーザーがテキスト「Photoshop® クイックマスター CC」を使用した場合の操作内容及び操作説明を補足するものです。

・テキスト「Photoshop® クイックマスター CC」は、Adobe® Photoshop® CC(2017) 2016 年 11 月及び 2016 年 12 月リリースと Windows、Macintosh の両プラットフォームに対応しています。

	バージョン		リリース	対応テキスト		
Photoshop CC	18.0	（CC2017）	2016年11月	Photoshop クイックマスター CC		
	18.0.1	（CC2017）	2016年12月			
	19.0	（CC2018）	2017年10月	Photoshop クイックマスター CC	＋	CC2018補足版
	19.1	（CC2018）	2018年1月			
	20.0	（CC2019）	2018年10月	Photoshop クイックマスター CC	＋	CC2019補足版
	20.0.1	（CC2019）	2018年11月			
	20.0.2	（CC2019）	2019年1月			
	20.0.3	（CC2019）	2019年2月			

※Photoshop CC 2019 年 2 月リリース（バージョン 20.0.3）を元に製作しております。

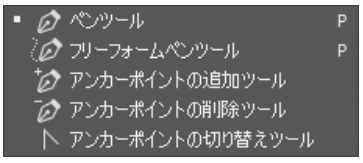
We Net ウイネット

■ P.7（ツール一覧）変更・追加のあったツール

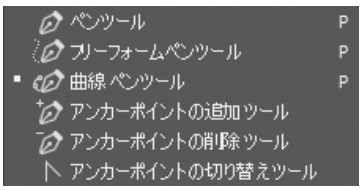
（CC2017）

（CC2019）

8



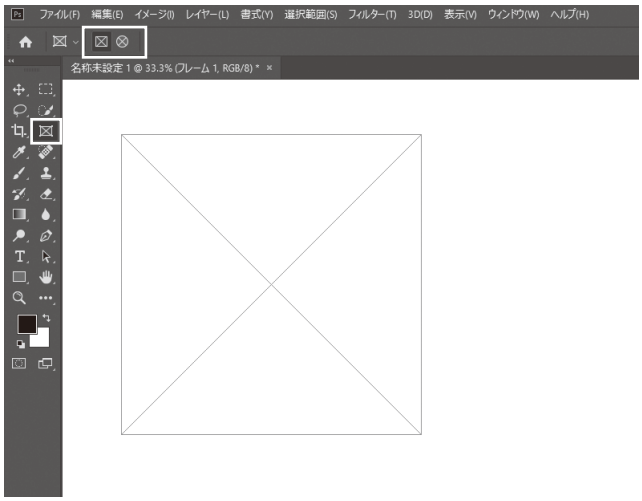
8



フレームツール（新機能）

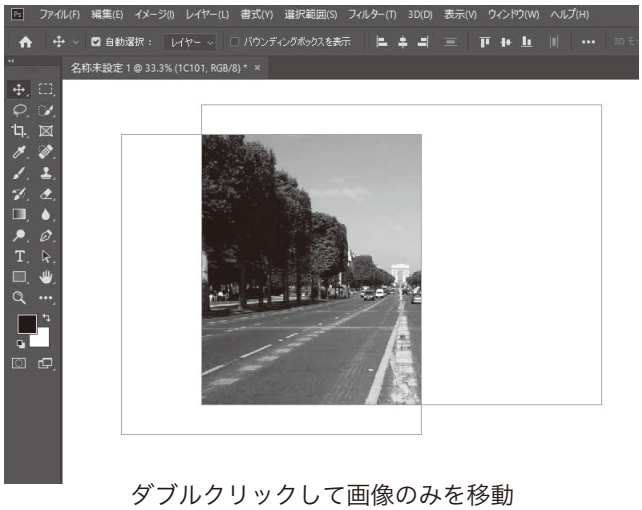
CC2019 より［フレームツール］が追加されました。［フレームツール］で画像のプレースホルダーフレームを作成すると、フレーム内に配置した画像を簡単にマスクすることができます。また、任意の図形またはテキストをフレームに変換し、フレーム内を画像で塗りつぶすこともできます。

①［フレームツール］を選びます。
②オプションバーで長方形または楕円のフレームを選び、カンバス上をドラッグしてフレームを作成します。



③メニューバーから、［ファイル］–［リンクを配置］または［埋め込みを配置］を選択し、ダイアログボックスでフレームに配置する画像を選択します。
（画像は、スマートオブジェクトとして配置されます。）

④メニューバーから、［選択範囲］–［レイヤーの選択を解除］を選択します。［移動ツール］でフレームに配置した画像を１回クリックするとフレームと画像の両方が選択され、フレームと画像を一緒に移動したり変形したりすることができます。
また、フレームに配置した画像をダブルクリックするとフレーム内の画像が選択され、画像のみを移動したり、変形したりすることができます。



ダブルクリックして画像のみを移動

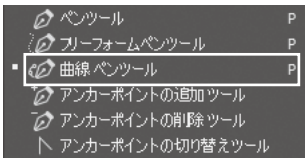
テキストをフレームに変換して画像を配置する

①レイヤーパネルで、テキストレイヤーを右クリック（Mac：「control」キー＋クリック）し、コンテキストメニューから［フレームに変換］を選びます。
②［新規フレーム］ダイアログで、［OK］ボタンをクリックします。

③フレームに変換したレイヤーを選択した状態で、メニューバーから、［ファイル］–［リンクを配置］または［埋め込みを配置］を選び、ダイアログボックスでフレームに配置する画像を選択します。

8　曲線ペンツール（新機能）

CC2018 より［曲線ペンツール］が追加されました。
［曲線ペンツール］は、［ペンツール］のアイコンを長押しして切り替えることができます。



曲線ペンツールによるパスの描画
①［曲線ペンツール］を選びます。
②ドキュメント内の任意の場所をクリックして、最初のアンカーポイントを作成します。

クリックしてアンカーポイントを作成

③パスのセグメントを曲線にする場合は、クリックして次のアンカーポイントを作成します。（この時、最初のセグメントは直線で表示されます。）

クリックしてアンカーポイントを作成

④次に描画するセグメントを直線にする場合は、ダブルクリックしてアンカーポイントを作成します。この時、前に描画したセグメントが曲線になります。

マウスボタンを押している間にアンカーポイントの位置を動かすと、前に作成したセグメントの曲線を調整することができます。

ダブルクリックしてアンカーポイントを作成

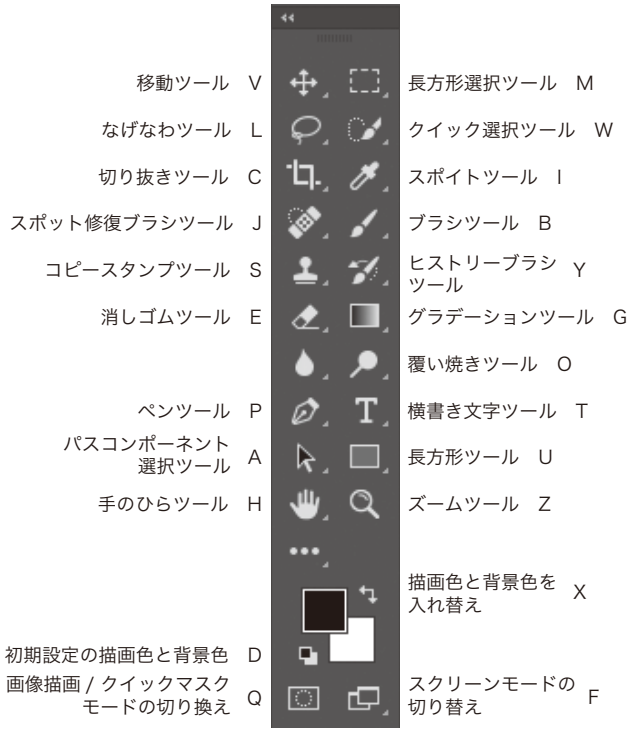
⑤アンカーポイントを追加していき、パスの描画が終わったら、「Esc（esc）」キーを押します。

・スムーズポイントをコーナーポイントに変換したり、コーナーポイントをスムーズポイントに変換する場合は、ポイントをダブルクリックします。
・アンカーポイントはドラッグして移動することができます。

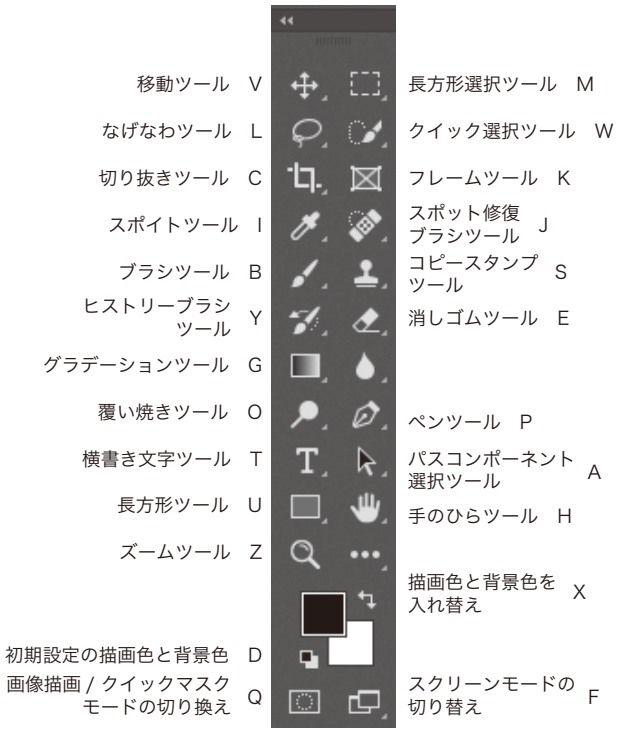
「Esc（esc）」キーを押して描画を終了

■ P.8　よく使うショートカット一覧

（CC2017）



（CC2019）



（CC2017）

編集	
取り消し / やり直し	Ctrl+Z
1 段階進む	Shift+Ctrl+Z
1 段階戻る	Alt+Ctrl+Z
カット	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
結合部分をコピー	Shift+Ctrl+C
ペースト	Ctrl+V

（CC2019）

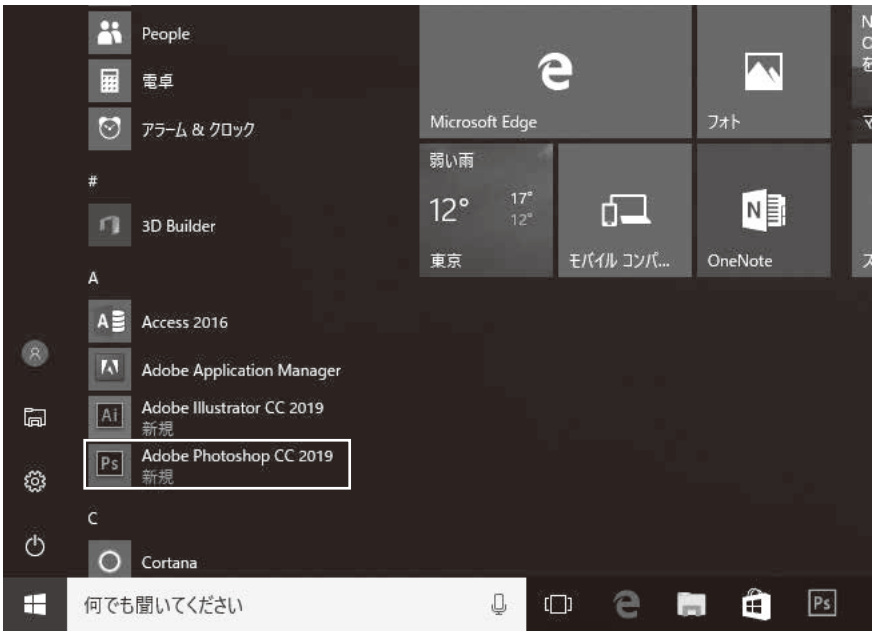
編集	
取り消し	Ctrl+Z
やり直し	Shift+Ctrl+Z
最後の状態を切り替え	Alt+Ctrl+Z
カット	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
結合部分をコピー	Shift+Ctrl+C
ペースト	Ctrl+V

CC2019 より、「Ctrl（command）」+「Z」を使用して、複数のステップを取り消すことができるようになりました。また、レイヤーの表示／非表示の変更も取り消し可能になりました。

従来方式の取り消しモードに切り替える手順
①メニューバーから、［編集］－［キーボードショートカット］を選びます。
② ［キーボードショートカットとメニュー］ダイアログで、［従来方式の取り消しショートカットを使用］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
③ Photoshop を再起動します。

■ P.10（1　Photoshopの起動（Windows））

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
1	［スタートメニュー］から**［Adobe Photoshop CC 2017］**を選びます。	➡	［スタートメニュー］から**［Adobe Photoshop CC 2019］**を選びます。



■ P.11（1　Photoshopの起動（Mac））

［Adobe Photoshop CC2019］フォルダーの表示は、以下の通りになります。

［Adobe Photoshop CC2019］フォルダー

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
1	［アプリケーション］ウィンドウ内のフォルダー**《Adobe Photoshop CC2017》**内の**《Adobe Photoshop CC2017》**アイコンをダブルクリックして、Photoshopを起動します。	➡	［アプリケーション］ウィンドウ内のフォルダー**《Adobe Photoshop CC2019》**内の**《Adobe Photoshop CC2019》**アイコンをダブルクリックして、Photoshopを起動します。

■ P.14（6　新規ファイルの作成）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
1	新規ファイルを作成してみましょう。 **Photoshop CC2017** では、何も書類が開いていない状態では、スタートワークスペース画面が表示されます。 **［新規］ボタン**をクリックします。	➡	新規ファイルを作成してみましょう。 **Photoshop CC2019** では、何も書類が開いていない状態では、スタートワークスペース画面が表示されます。 **［新規作成］ボタン**をクリックします。

スタートワークスペース

■ P.27（7 スウォッチパネル）

Photoshop CC 2019 では、手順番号 4 の「Alt（option）」キーを押しながらスウォッチをクリックして削除する操作ができない問題が報告されています。その場合は、スウォッチをパネル右下の［削除］ボタンまでドラッグして削除してください。

■ P.55（1 拡大・縮小 / 回転 / ゆがみ / 自由な形に）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
2	**「Shift（shift）」キーを押したまま、**四隅のコーナーハンドルをドラッグします。	➡	四隅のコーナーハンドルをドラッグします。

■ P.58（Point［自由変形］コマンド）

	（CC2017）		（CC2019）
反転	「Alt（option）」キーを押しながら	➡	「Alt（option）」＋「Shift（shift）」キーを押しながら

※ CC2019 **バージョン 20.0.0 と 20.0.1** では、「ゆがみ」、「自由な形に」、「遠近法」のキーは下記の通りになります。

ゆがみ	「Ctrl（command）」キーを押しながら
自由な形に	「Ctrl（command）」＋「Shift（shift）」キーを押しながら
遠近法	「Ctrl（command）」＋「Alt（option）」キーを押しながら

■ P.72（1 ブラシツールとオプションの設定）

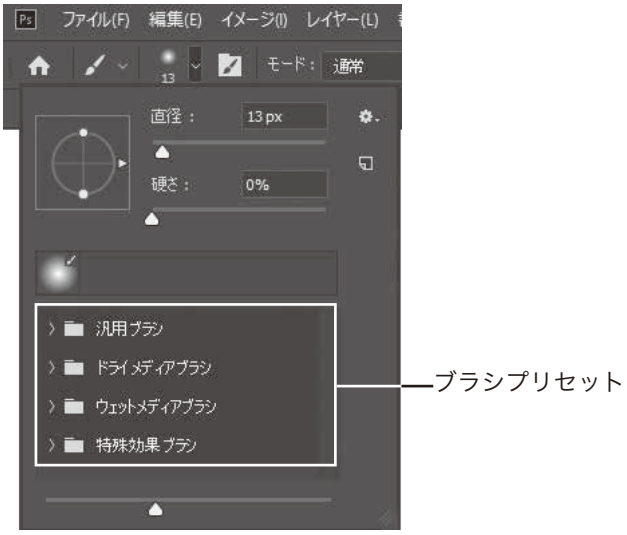
［ブラシツール］を選択し、オプションバーで［滑らかさ］に 0 ～ 100 を入力すると、描画の際にスムージングが適用されるようになりました。より大きな値を指定すると、ストロークに適用されるスムージングが強くなり、0 を指定すると、以前のバージョンの Photoshop と同じように描画できます。
［滑らかさ］の設定は、［ブラシツール］の他、［鉛筆ツール］、［消しゴムツール］でも使用できます。

オプションバー　滑らかさの設定

■ P.72（1 ブラシツールとオプションの設定）

従来の［ブラシプリセット］の使い勝手が向上しました。

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
3	［ブラシプリセットピッカー］には、ブラシの形状、サイズ、不透明度、エアブラシ機能の ON/OFF などを設定した様々なブラシの見本が表示されます。	➡	［ブラシプリセット］では、ブラシの形状、サイズ、不透明度、エアブラシ機能の ON/OFF などを設定した様々なブラシをフォルダーで分類して整理することができます。

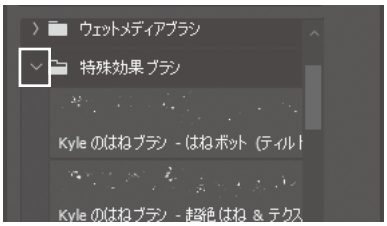
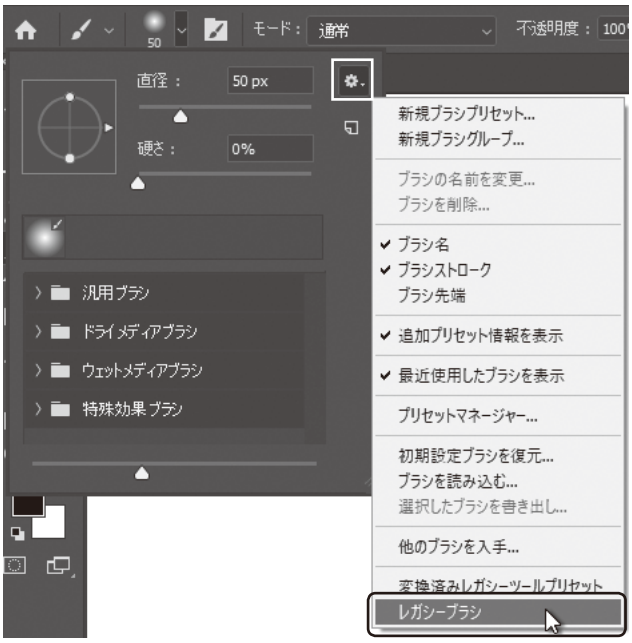


ブラシプリセットピッカー

■ P.73（2 エアブラシ機能の有効化）

エアブラシスタイルの効果が適用されない場合は、オプションバーの［滑らかさ］の値を［0%］にしてください。

■ P.74（3 ブラシプリセット）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
1	［ブラシプリセットピッカー］の下側半分に表示されるブラシセットのグループを、初期設定のものから別のグループに変更してみましょう。 ［ブラシツール］を選択している状態で、オプションバーから［ブラシプリセットピッカー］を表示します。	➡	［ブラシツール］を選択している状態で、オプションバーから［ブラシプリセットピッカー］を表示します。 ［ブラシプリセット］には、汎用ブラシ、ドライメディアブラシ、ウェットメディアブラシ、特殊効果ブラシの４つのフォルダーが表示されています。 ［ブラシプリセット］の［特殊効果ブラシ］フォルダー左の［>］をクリックして、フォルダーを展開してみましょう。 再度クリックするとフォルダーが閉じます。  ［特殊効果ブラシ］をクリックして展開
2	［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックしてメニューを表示し、［特殊効果ブラシ］を選びます。 「現在のブラシを特殊効果ブラシで置き換えますか？」というアラートウィンドウが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。さらに、「置き換える前に、現在のブラシへの変更を保存しますか？」というアラートウィンドウが表示されたら、［いいえ（保存しない）］ボタンをクリックします。	➡	［ブラシプリセット］に従来のブラシを読み込んでみましょう。 ［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックしてメニューを表示し、［レガシーブラシ］を選びます。  「「レガシーブラシ」ブラシセットをブラシプリセットのリストに戻しますか？」というアラートウィンドウが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

手順番号	(CC2017)		(CC2019)
3	ブラシプリセットの一覧から、[バラ（散乱)] を選びます。ツールパネルの［描画色を設定］ボックスをクリックし、描画色を赤（[R：255、G：0、B：0]）に設定します。	➡	［レガシーブラシ］フォルダーを開き、さらにその中から［特殊効果ブラシ］を開きます。 ブラシプリセットの一覧から、[バラ（散乱)] を選びます。ツールパネルの［描画色を設定］ボックスをクリックし、描画色を赤（[R：255、G：0、B：0]）に設定します。

■ P.74（4 ブラシパネル）

手順番号	(CC2017)		(CC2019)
1	[バラ（散乱)] をもとに、ブラシをカスタマイズしてみましょう。 [ブラシツール] を選択している状態で、オプションバーの**［ブラシパネルの切り替え］ボタン**をクリックします。	➡	[バラ（散乱)] をもとに、ブラシをカスタマイズしてみましょう。 [ブラシツール] を選択している状態で、オプションバーの**［ブラシ設定パネルの表示を切り替え］ボタン**をクリックします。

［ブラシ設定パネルの表示を切り替え］ボタン

以降、「ブラシパネルの切り替え」ボタン→「ブラシ設定パネルの表示を切り替え」ボタンへの読み替えをお願いいたします。

■ P.75（4 ブラシパネル）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
2	**［ブラシ］パネル**が表示されます。 （［ブラシ］パネルは、ブラシの作成や編集、登録したブラシセットを管理するパネルです。） ブラシプリセットの［バラ（散乱）］（［Scattered Roses］）が選択されていることを確認し、［間隔］を［45%］に設定します。	➡	**［ブラシ設定］パネル**が表示されます。 （［ブラシ設定］パネルは、ブラシの作成や編集、登録したブラシセットを管理するパネルです。） ブラシプリセットの［バラ（散乱）］が選択されていることを確認し、［間隔］を［45%］に設定します。 ［ブラシ設定］パネル

以降、「ブラシパネル」→「ブラシ設定パネル」への読み替えをお願いいたします。

手順
番号

5 ［ソフト円 45］のブラシは、ブラシの一覧の中央付近にあります。

［デュアルブラシ］を設定

■ P.76（4 ブラシパネル）

手順
番号

（CC2017）

7 ［ブラシ名］ダイアログが表示されます。
［名前］を「Flowers」に設定し、［OK］ボタンをクリックします。
新しく「Flowers」というブラシが設定されました。

➡

（CC2019）

［ブラシ名］ダイアログが表示されます。
［名前］を「Flowers」に設定し、［ブラシサイズをプリセットで保存］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。
新しく「Flowers」というブラシが設定されました。

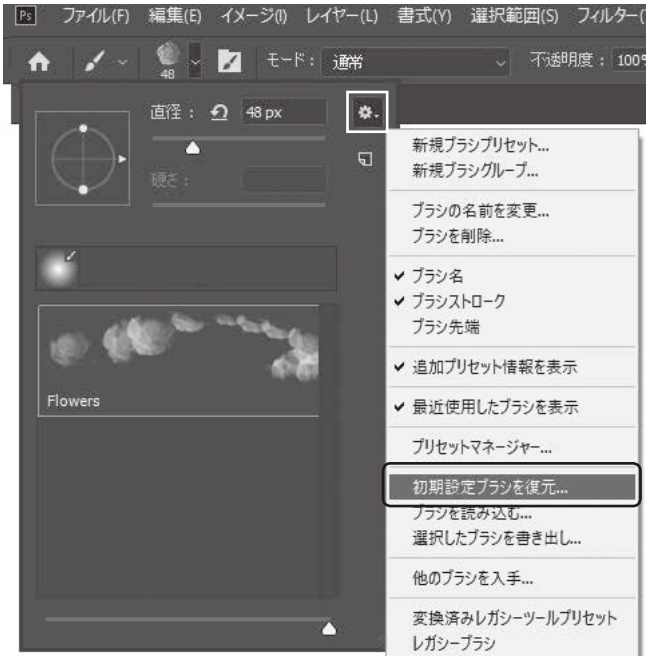
ブラシに名前を付けて登録

■ P.76（4 ブラシパネル）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
8	オプションバーから［ブラシプリセットピッカー］を選びます。［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックし、メニューから［リスト（大）を表示］を選びます。 ブラシプリセットの表示が変わり、ブラシ名が表示されるので、作成した「Flowers」ブラシを選択し、描画してみましょう。	➡	オプションバーから［ブラシプリセットピッカー］を選びます。 作成した「Flowers」ブラシを選択し、描画してみましょう。 ［Flowers］を選択

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
9	ブラシプリセットを初期設定に戻しましょう。 ［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックし、メニューから［初期設定に戻す］を選びます。 ［現在のブラシを初期設定のブラシで置き換えますか？］というアラートが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。さらに、［置き換える前に、現在のブラシへの変更を保存しますか？］というアラートが表示されたら、［いいえ（Mac：保存しない）］ボタンをクリックします。 初期設定のブラシプリセットグループに戻りました。	➡	ブラシプリセットのフォルダーを削除しましょう。「Shift（shift）」キーを押しながら、ブラシプリセットの［汎用ブラシ］、［ドライメディアブラシ］、［ウェットメディアブラシ］、［特殊効果ブラシ］をクリックし、選択します。 ［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックし、メニューから［グループを削除］を選びます。 ［選択したブラシを削除しますか？］というアラートが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。 グループを削除

次に、ブラシプリセットの初期設定のフォルダーをリストに戻しましょう。
［ブラシプリセットピッカー］の右上のボタンをクリックし、メニューから［初期設定ブラシを復元］を選びます。
［ブラシの初期設定をブラシプリセットのリストに戻しますか？］というアラートが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
ブラシプリセットの初期設定のフォルダーが復元されました。



初期設定ブラシを復元

■ P.97（Chapter5　演習問題）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
1	完成例を参考に、［ブラシツール］を使用し、雪が降っているイメージに仕上げてみましょう。 雪の結晶の形のブラシは、**［ブラシセット］の［カスタムブラシ］**に用意されています。	➡	完成例を参考に、［ブラシツール］を使用し、雪が降っているイメージに仕上げてみましょう。 雪の結晶の形のブラシ（雪片）は、**［ブラシセット］の［レガシーブラシ］＞［カスタムブラシ］**に用意されています。

■ P.113（1 パスコンポーネント選択ツール）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
5	縦横比率を維持したまま、パスを縮小してみましょう。 バウンディングボックスの右下のコーナーハンドルを**「Shift（shift）」キーを押しながら**左上にドラッグします。	➡	縦横比率を維持したまま、パスを縮小してみましょう。 バウンディングボックスの右下のコーナーハンドルを左上にドラッグします。

■ P.119（9 フリーフォームペンツール）

手順
番号

2 CC2019 では、[フリーフォームペンツール] を選び、オプションバーの [ペンやパスのオプションを追加設定] をクリックすると、パスの太さやカラーを設定できるようになりました。

［フリーフォームペンツール］のオプションを設定

■ P.119（10　マグネットペンツール）

手順
番号

2 オプションバーの［ペンやパスのオプションを追加設定］をクリックしたときの表示が下記の通りに変わりました。

マグネットの ON

■ P.120、P.121（1 シェイプの変形）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
3	バウンディングボックスが表示されるので、**「Shift（shift）」キーを押しながら**右下のコーナーハンドルをドラッグし、拡大します。	➡	バウンディングボックスが表示されるので、右下のコーナーハンドルをドラッグし、拡大します。
5	メニューバーから［編集］－［パスを自由変形］を選びます。 パスの周りに変形ボックスが表示されるので、手順３と同様に拡大してください。	➡	メニューバーから［編集］－［パスを自由変形］を選びます。 **「Shift（shift）」キーを押しながら**右下のコーナーハンドルをドラッグし、拡大します。

■ P.133（1 文字の変形）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
4	メニューバーから［編集］－［変形］－［拡大･縮小］を選びます。バウンディングボックスが表示されます。**「Shift（shift)」キーを押したまま**四隅のコーナーハンドルをドラッグしてみましょう。	➡	メニューバーから［編集］－［変形］－［拡大・縮小］を選びます。バウンディングボックスが表示されます。四隅のコーナーハンドルをドラッグしてみましょう。

■ P.224（Step2 画像を配置してクリッピングマスクを作成）

手順番号	（CC2017）		（CC2019）
3	「Photo 1」レイヤーを縮小します。 メニューバーから［編集］－［自由変形］を選びます。 右図を参考に、**「Shift（shift)」キーを押しながら**バウンディングボックスをドラッグし、縮小配置します。	➡	「Photo 1」レイヤーを縮小します。 メニューバーから［編集］－［自由変形］を選びます。 右図を参考に、バウンディングボックスをドラッグし、縮小配置します。

© 株式会社ウイネット